

2020 年度 第 1 回理事会次第

日 時：2020 年 5 月 10 日（日）10：00～
会 場：千葉県社会福祉士会 事務局会議室
（ZOOMによるWEB会議）

1. 出席者及び資料の確認

2. 開 会

3. 会長挨拶

4. 議 題

（1）会長と三役会からの報告

（2）各委員会報告事項に対する質疑
（事前送付資料によりご確認ください）

（3）議事

- ① 2019 年度事業報告と決算報告
- ② 2020 年度役員候補者について
- ③ その他、総会に関する事項

5. 閉 会

次回理事会予定	第 2 回 理 事 会：2020 年 6 月 21 日（日）10：00～
	場 所：県社協研修センター大研修室
次回総会予定	第 1 回定時総会：2020 年 6 月 21 日（日）13：30～
	場 所：県社協研修センター大研修室

【報告事項】

1 点と線発行の進捗

第103号 7月中旬から発送作業（障がい者作業所に委託）

同封物（研修案内等）原稿〆切 → 6月22日（月）までに事務局へメール office@cswhiba.com で

発送先 会員 約1100部

福祉事業所 874部 養成校 240部 関係機関 260部

※メール登録会員へはメール配信 約450通

- ① 前回から会員向けの発送作業を中止し、関係機関宛での発送を委託している福祉作業所へ追加委託
・ 前回、コロナ感染拡大防止のため中止、会員による編集作業を効率化したことによる支出減等を活用し予算内で対応。今後も外部委託とする。会員交流の場としてのメリットは、地域集会他、大人の文化祭等への声かけを活用する。

- ② ▶特集「(仮) 自粛が必要な中でのソーシャルワーカーの動き」

- ・ 会長声明 掲載
- ・ ケアマネージャー
- ・ スクールソーシャルワーカー
- ・ 後見人（部会員からばあとなあ登録者に相談）
- ・ 施設など相談員（リスクマネジメント等）障がい者施設相談員

※どなたか紹介いただけませんか？

5月25日（月）まで 1200文字 + 写真

※新理事・監事をお願い！

▶新理事紹介

私の最近はまっていること 5月25日（月） 600文字 + 写真

▶社会福祉士のわ

▶地域集会「Zoomでの地域集会を紹介」

▶ブレインストーミング、在宅ワーク

▶事務局だより

2 千葉県社会福祉士会パンフレット

以前、ご意見いただきリニューアルしたパンフレットを12月から新入会員、転入会員に資料配布時郵送しています。

今後、新たな会員と知り合うような機会がありましたら、ぜひご活用ください。

（例）大人の文化祭、このゆびと〜まれ、基礎研修等

[研修委員会]

《報告》 研修啓発部会

1、 2020年度 新型コロナの影響に伴う基礎研修等開始の有無について

現在、千葉県社会福祉士会 ホームページに6月末まですべての研修中止

今後の開催の有無について検討・・・

①他士会の現状

○長野県、新潟県

基礎研修ⅡⅢは開催中止 基礎研修Ⅰオンランなどでの開催検討

○東京都、神奈川県、埼玉県

基礎研修すべて開催有無未定 今後の状況によっては中止もあり得る。

②これからの方向性

千葉県社会福祉士会研修委員会としては現状から勘案し、開催の有無を検討・・・成年後見養成研修（←基礎研修Ⅲ卒業しなければ参加不可）にも関連してくるため、理事会での協議を求める。

3、ジェイシー教育研究所 2019年度 国家試験解答解説 終了

【添付資料】

【活動報告】

○ ぱあとなあ千葉 運営委員会及び各部会等の活動報告

新型コロナウイルスの影響で、運営委員会・部会等の活動は、中止・延期・縮小の状態です。
特に研修部会の活動は、中止したものと延期にしてコロナの終息状況等をふまえて活動再開を検討しています。

- 議 題：
- 1 今後の各研修の取り扱いについて
基礎研修Ⅲの予定確認、 成年後見人材育成研修の取り扱いについて
 - 2 ぱあとなあ千葉運営委員等（新メンバー）の取り扱いについて
 - 3 ささえあい制度配分委員会委員の取り扱いについて
各委員会（人選）の検討をお願いします。

【理事会決議・承認依頼事項】

司法福祉委員会

【報告事項：1】

3月17日（火）

事務局となり会議室にて東京新聞特別報道部 中山記者から司法福祉委員会の取組等について取材を受けた。

3月29日（日）

東京新聞 25面に記事が掲載された。（添付資料）

【報告事項：2】

4月1日（水）

コロナ感染拡大の状況を受け、認定研修である「刑事司法ソーシャルワーカー養成講座」の基礎編と応用編を中止とした。

以上

精神障害 罰よりケアを

ある「花泥棒」事件の判決から

先月、東京地裁である「花泥棒」事件の判決があった。罰金刑を受けた女性は、判決後に入院し、精神障害だったことが判明。家族の話からは、地域社会で福祉のケアを受けられないまま人知れず孤立していた境遇が浮かぶ。専門家によると、女性のようなケースは決して珍しくなさそうだ。どんな支援が必要なのか。(中山裕)



東京地裁であった窃盗事件の公判の判決後、病院に向かう被告の女性(左)。2月、東京都千代田区で

「被告人を罰金四十万円に処する」
先月二十六日、東京地裁である窃盗事件の公判が開かれた。灰色のスエット姿の被告女性(左)は裁判官を見つめ、判決をじっと聞いていた。判決によると、女性には昨年十月下旬、東京都練馬区の路上で民家の花壇から花一株(二百円相当)を盗んだ。
民家の防犯カメラに、花壇から花を盗んで袋に入れ、アパートに向かう人物が映っていた。女性はこのアパートに住み、一週間後に逮捕された。「やっていない」と否認したものの、防犯カメラ映像の人物と、女性の特徴が似ていることなどから裁判所は女性の犯行と認定した。
閉廷後、女性は弟(金)や

相談した役所「家族で何とかして」

家族と話し合い、診察を受けることにした。弟に「体に気を付けてね。子どもたちをよつし」と伝え、都内の病院に入院。「統合失調症」と診断された。女性は三十代のころも統合失調症を患っていた。これまでに、他人の畑から大根を盗んだり、スーパーで健康食品を万引したりしたこともあったという。
弟は「自分が盗んだと自覚があるのかもしれないが、病気のためにすぐに忘れてしまった可能性もある。過去に市役所の窓口で相談したが『家族で何とかしてほしい』と言われただけ。助けを得られず疲れ切った」と語った。
女性は逮捕時、生活保護を受けてながら一人暮らしをしていた。通院はしてお

「精神障害がある人の再犯を防ぐためには、福祉のケアや支援が必要だ」と話す五十嵐弘志さん(2月、東京都千代田区で)



らず、障害者手帳も持っていないかった。定期的の様子を見に行っていた次女(三)は「部屋が散らかっていても掃除をせず、精神的に調子が悪そうだった。病院に行くことを勧めたが、本人が嫌がった」と振り返

罪を犯す前に福祉の手届いていれば

裁判で、女性の精神障害は検討されなかったのか。女性の弁護士は「意思疎通はでき、否認する」という本人の意思を尊重して、精神鑑定は請求しなかった」と説明する。
裁判後、女性が再び生活保護を受けられるよう支援したNPO法人「マザーハウス」の五十嵐弘志理事長は「逮捕後の取り調べや裁判で、精神障害について検討されなかったのは疑問だ。女性の場合は、裁判で罰則を受けるよりも治療や福祉的なケアが重要ではないか」と感じた。「そもそも事件前、行政などが女性の不調に気付いて治療や福祉ケアにつなげられるような仕組みがあればよかったが」と残念がる。
五十嵐さんは、女性のような境遇で福祉の支援を受けられないまま犯罪をしてしまう人は少なくないと指摘する。五十嵐さんは「障害がある人が逮捕されれば、家族も誰かのサポートを受けなければ疲弊してしまう。地域社会でケアしない限り、こうした犯罪は繰り返され、被害者は増えてしまう」と語る。

ちろ特報部

生活更生支援受け皿不足

犯罪白書によると、二〇一八年に検挙された刑法犯のうち、統合失調症や知的障害などの精神障害者や、その疑いがある人は二千六百九十五人で、全体の1.3%と決して多くはない。犯罪の内容で見ると窃盗が最多で九百四人だった。罪を犯した精神障害がある人らを支援する一般社団法人「東京T.S.ネット」共同代表理事の中田雅久弁護士は「窃盗する人の中には動機が生活苦の人も多く、背景に障害が影響している場合がある」と指摘する。

社会で孤立

再犯繰り返す

精神障害があっても本人が自覚していないケースもある。刑務所に服役して出所後、福祉の支援を受けられず社会に居場所がないため、万引や無銭飲食などを繰り返して「累犯」となってしまう人もいる。

累犯障害者の問題は、〇六年一月にJ.R下関駅(山口県下関市)の駅舎が全焼した放火事件で注目され

千葉県社会福祉士会：面会し希望踏まえた総合援助



繰り返ししてきた七十四歳の男性が、刑務所を出所してわずか八日後、生活費に困って「駅を燃やせば刑務所に帰れる」と犯行に及んだ。この後、国が支援に動いた。出所した高齢者や障害者が、福祉サービスにつながられるよう支援する「地域生活定着支援センター」が各地に整備された。一六年には再犯防止を国と地方自治体の責務にした「再犯防止推進法」も成立した。それでも中田氏は「社会復帰した人がすぐに入所できず、一時的に滞在できる施設がもっと

司法ソーシャルワーカーの活動を話し合う千葉県社会福祉士会。大浦明美さん(右)は、千葉市中央区で

体制充実へ 手当てもっと

あればいい」と話す。ミスマッチをなくそうと、弁護士と社会福祉士などの専門家が連携する動きがある。その一つが千葉県社会福祉士会の取り組みだ。弁護士から依頼を受けた社会福祉士が、精神障害がある被疑者や被告と面会する。健康状態や逮捕前にどんな暮らしをしていたか聞き、希望を踏まえて「更生支援計画書」を作る。計画書を裁判所に提出したり、裁判で社会福祉士が情状証人として出廷して支援策を説明したりする。会では千葉県弁護士会と共催で、逮捕後の勾留や裁判の流れや更生支援計画書の作り方などを教える講座も開く。講座を受けて「刑事司法ソーシャルワーカー(SW)」に登録した社会福祉士は約六十人になる。その一人、出口紀子さん(左)は「福祉のケアからこぼれ落ち、犯罪をしてしまう障害者は少なくない。社会で医療や福祉ケアを受けることで、再犯を防ぐことにつながる」と話す。

一件で五万〜十万円ほど、面会を繰り返せば経費がかさんでしまう。国選弁護人だと弁護士自身の報酬が低く、これ以上払うのも難しい。千葉県社会福祉士会司法福祉委員長の浦明美さん(左)は「ボランティアではできない仕事。国からの支援も含め、手当てが必要だ」と求める。国選弁護事件で社会福祉士らと連携する場合、東京の三つの弁護士会は上限五万円の支援金を出している。それでも不十分な上、協力してくれるSWの絶対数も足りていない。中田氏は「障害がある人は、釈放されても地域社会で生活し続けなくてはならない。本人の抱える課題や希望に応じ、必要な人が支援できる仕組みが求められている」と、支援体制の充実を願う。

デスワレ

「山にはカネが埋まっている」とうそをぶく生花商はエヒネ盗掘を繰り返していた。「花泥棒は……」というが罪は重い。一方、きれいな花を思わず手折るのも花泥棒。同列には処罰できない。では精神疾患が犯行に影響していたら？ 罰を科すだけでなく、支援が再犯防止に不可欠だ。(裕)

【報告事項】

委員会としての活動及び関係機関等との会議等について

日時	活動内容	出席者
3月27日 (社会福祉センター)	千葉県災害ボランティアセンター運営に係る振り返り会 ・災害ボランティアセンター活動の振り返り	市原

【理事会報告】

① 2019(R1) 補正予算総括表参照

- ・ 2019(R1) 補正（勘定科目のみ）予算について、理事会報告いたします

【理事会議事・承認依頼】

② 2019(R1)事業報告（案）参照

- ・ 2019(R1)事業報告（案）について、理事会の承認を求めます

③ 2019(R1)決算報告書（案）参照

- ・ ①の補正予算案報告をふまえて、2019(R1)決算報告書（案）について、理事会の承認を求めます

④ 役員候補者名簿（案）参照

- ・ 一般社団法人千葉県社会福祉士会の次期役員候補者を総会議案とすることについて、理事会の承認を求めます

◇千葉県社会福祉士会会長職務執行状況 2020年3月23日～2020年5月10日

【活動報告】

- 3月26日(木) 松戸事業面接
福祉と司法の千葉県連絡会
4月8日(水) 3役会 ZOOM 会議
5月4日(月) 福祉と行政と司法の会 ZOOM 会議
10日(日) 理事会 ZOOM 会議

◇各種委員会等

【委員推薦】

- 2020年4月1日～2021年3月31日 千葉市保健福祉局
成年後見制度利用支援ケース検討会の専門職派遣 小川 晴雄氏
○2020年4月1日～2021年3月31日 市川市 障害者支援課、介護福祉課
市川市審判請求対象者検討会委員 吉田 愛子氏、今川 純子氏
○2020年4月1日～2023年3月31日 千葉県健康福祉部高齢者福祉課
千葉県高齢者保健福祉計画策定・推進協議会委員 谷口 さなえ氏
○2020年4月1日～2022年3月31日 浦安市
浦安市高齢者・障がい者権利擁護講義会委員 今川 純子氏
○2020年4月1日～2021年3月31日 市川市社会福祉協議会 専門職後見人によるアドバイザー
今川 純子氏
○2020年4月1日～2021年3月31日 千葉市 千葉市障害者介護給付判定審査会委員
竹島 信洋氏
○2020年4月1日～2021年3月31日 千葉県社会福祉協議会
千葉県新地域支援事業推進協議会会員 園 康祐氏
○2020年4月1日～2022年3月31日 松戸市 松戸市高齢者虐待防止ネットワーク委員 須田 仁氏
○2020年6月～2022年5月31日 市原市 市原市地域福祉推進協議会委員 大戸 優子氏

◇その他の活動

- 書面開催へ変更⇒2020年3月12日(水) 千葉県健康福祉指導課
千葉県災害福祉広域支援ネットワーク協議会第2回準備会 市原 久夫氏出席
○2020年3月27日(木) 千葉県社会福祉協議会 『令和元年度千葉県災害ボランティアセンター
運営に係る振り返り会』書面開催に係るコーディネーターとの意見交換 市原 久夫氏出席

**** 会員情報 ****

4月30日現在正会員:1,482名 (新入会:18名、転入:3名、退会:47名、転出2名)
準会員6名、賛助会員2名